

## 1. 開講科目・担当教員【国際社会開発専攻】

授業科目名	担当者
「ソーシャルビジネスと開発」特別研究	雨森 孝悦*
「制度開発」特別研究	岡本 眞理子*
「開発と文化」特別研究	小國 和子
「障害と開発」特別研究	久野研二（客員教授）
「マイクロ開発」特別研究	斎藤 千宏*
「環境と開発」特別研究	千頭 聡
「住民主体の開発」特別研究	野田直人（客員教授）
「福祉開発」特別研究	穂坂 光彦（客員教授）*
「地域マネジメント」特別研究	吉村 輝彦

\*新規指導院生受け入れ予定はありません。

## 2. 修了要件

本課程に3年以上在学し、当該研究科の定める所定の科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出しその審査及び最終試験に合格することを、本課程の修了要件とする。

## 3. 授与学位

博士(開発学) Degree of Doctor of development studies

## 4. 博士課程の目的

本課程では修士課程での教育研究課程を基礎に、国際社会開発領域の先端的かつ根源的課題に取り組みながら、学際的な方法論に基づく開発学を基盤とする高度な研究能力・指導力を備えた専門職業従事者として、国際開発・協力領域での担い手を育成する能力を修得した人材養成を目標とする。

## 博士課程の研究領域の内容

研究領域	各担当が行う研究指導の概要
「開発と文化」 特別研究	<p>(小國 和子 准教授) E-mail : <a href="mailto:oguni@n-fukushi.ac.jp">oguni@n-fukushi.ac.jp</a></p> <p>地域社会が歴史的に蓄積してきた文化的な価値基盤をもとに、現代の開発実践を読み解き、院生各自が対象とする社会におけるローカルな開発概念とともに検討します。開発における地域固有性の配慮が取沙汰される中で、文化人類学を学問的な背景に、アクター・アプローチに基づくプロセス分析など、開発の動態を叙述的に考察していく視点と姿勢について指導を行います。フィールドワークに代表される調査技法にはじまり、語りや観察記録といった質的情報をデータとして反映させていく方法を指導します。</p>
「障害と開発」 特別研究	<p>(久野研二 教授) E-mail : <a href="mailto:kuno.kenji@jica.go.jp">kuno.kenji@jica.go.jp</a></p> <p>障害を一つの切り口とし、多様性と包摂の視点から開発を再考します。特に、多様性を包摂した開発の分析枠組みや実践についての理解を深めます(例: ケイパビリティ・アプローチ、持続的生計、社会関係資本など)。その上で、「障害と開発」という視点から開発政策といったマクロの取り組みから地域社会での具体的な実践といったミクロの取り組みまでを見据えた研究指導を行います。</p> <p>研究方法論については、いわゆる質的研究といわれる社会構成(構築)主義に基づき、具体的手法としては参与観察や事例分析について研究指導を行います。</p>
「環境と開発」 特別研究	<p>(千頭 聡 教授) E-mail : <a href="mailto:chikami@n-fukushi.ac.jp">chikami@n-fukushi.ac.jp</a></p> <p>持続可能な地域システムの構築を図るために必要な、自然的・社会的・人的資源の把握・評価・管理のあり方について、東南アジアを中心に、院生の現場での実証的な調査・研究をベースとしながら、研究指導を行います。特に、水・森林・土地などの環境資源の管理・活用のあり方について、それを支える社会的なシステムとの関係性に留意しつつ、解析指導を行います。さらに、環境資源管理を基軸とした持続可能な地域づくりの総合的な政策フレームについての研究指導を行います。これらの研究指導においては、日本での実態や政策・制度の変遷との比較研究も視野に入れます。</p>
「住民主体の開発」 特別研究	<p>(野田直人 教授) E-mail : <a href="mailto:banabana.com@gmail.com">banabana.com@gmail.com</a></p> <p>持続的な地域の開発・発展のために必要不可欠な地域住民の主体性発露に関し、あるいはそれを可能にする政策や援助アプローチに関し、具体的な事例の分析を通して多面的に考察します。</p> <p>研究内容は、地域住民の主体性発露を量的・質的両面から捉えることを前提と</p>

	<p>し、マクロレベルの政策等を検討する場合においても、ミクロレベルでの成果への言及が必須です。また研究を進める上で政治・経済・社会など学際的な視点に加え、資源論・環境論など、各研究対象に応じた特定分野におけるレビューが求められます。</p> <p>研究方法は事例研究に基づくものとしますが、量的・質的な変化を検証できることが必須です。</p>
<p>「地域マネジメント」 特別研究</p>	<p>(吉村 輝彦 教授) E-mail : <a href="mailto:yoshi-t@n-fukushi.ac.jp">yoshi-t@n-fukushi.ac.jp</a></p> <p>日本や開発途上国において、地域の人々の生活や生計を確保しつつ、地域主体の地域づくりをどのように進めていくのかを中心に、マクロとミクロの中間領域を射程に入れて、研究の指導を行います。特に、参加型（協働型）ガバナンスや個別の支援的政策（制度）環境のあり方、関係主体の相互作用や関係変容を促す場や縁のデザインやマネジメントのあり方、これらの仕組みを機能させるための社会関係資本や能力形成の向上策のあり方等を、個別具体的に検討していきます。</p>

(注) 新規指導院生受入れ予定がない特別研究は記載していません。